

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立梨の実寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野4370	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年8月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立梨の実寮設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:43,994㎡ ○建築延面積:2,937.57㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建、鉄骨造平屋建 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理居住棟(鉄筋コンクリート造2階建)1,163.98㎡ ・作業棟(鉄骨造平屋建)252.00㎡ ・授産施設棟(しいたけ)(鉄骨造平屋建)1,321.92㎡ ・短期入所事業用居室(鉄骨造平屋建)81.90㎡ ・付属棟(倉庫等)(鉄骨造等)117.77㎡ ○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:52人 ・就労移行支援:6人 ・施設入所支援:50人 ・短期入所:6人 ・就労継続支援B型:12人 		
主な業務内容	<p>(1)施設等の維持保全に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 <p>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
------------------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	生活介護	48	51	43	
	就労移行支援	3	4	5	
	施設入所支援	39	38	39	
	短期入所	10	7	0.1	
	利用者数合計	100	99	87.1	
	目標値	126	126	126	
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする			
	対平成30年度比		99.2%	87.1%	
利用率	87.3%	82.1%	72.7%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	163,538,700	167,565,900	169,520,969	
	指定管理者委託料				
	その他	4,964,644	4,656,100	3,952,302	
	収入合計(A)	168,503,344	172,222,000	173,473,271	
支出	人件費	132,550,032	131,944,000	128,255,019	
	県への納付金				
	管理運営費	42,725,181	40,278,000	43,188,977	
	うち外部委託費(B)	770,218	891,500	681,843	
	支出合計(C)	175,275,213	172,222,000	171,443,996	
収支差額(A-C)	△ 6,771,869		2,029,275		
外部委託比率(B÷C)	0.4%	0.5%	0.4%		
利用者一人当たりの経費	1,629,626.2	1,329,888.1	1,893,813.0		

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和3年3月 実施方法: 利用者へのアンケート 回答数: 53名(障害者支援施設利用者)
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
日常生活の相談・要望	85.4%	8.3%	4.2%	2.1%
個人の秘密保持	80.8%	12.8%	2.1%	4.3%
食事	92.0%	4.0%	4.0%	
生活支援(入浴他)	81.6%	14.3%	4.1%	
健康管理	93.0%	7.0%		
買い物・外出等の対応	45.2%	16.7%	23.8%	14.3%
設備・管理	71.7%	13.1%	8.7%	6.5%
施設を利用しての感想	63.6%	18.2%	13.6%	4.6%
施設全般の満足度	63.6%	18.2%	13.6%	4.6%

利用者の意見	①時間がなくじっくりと話を聞いてもらえない。 ②4人部屋・5人部屋なので利用者間のプライバシーが保てない ③食事が調理員の手作りで温かくおいしい。 ④風呂場が汚い。 ⑤外出(旅行・買い物)をしたい。 ⑥施設が古い、一人部屋がほしい。
利用者の意見への対応	①～③利用者の個性に合わせた支援を行い、充実した生活ができるよう取り組んでいく。 ④風呂場の老朽化が不満になっている。浴室はバリアフリーでないため高齢の利用者さん怪我等には気を付けて対応している。 ⑤新型コロナウイルスの影響で外出・帰宅を制限していることが不満になっているが、利用者さんがストレスをためない様に、施設内でイベントを開催するなどして気分転換やストレス発散の対応をしていく。 ⑥施設の老朽化に関しては不満度は高い。利用者さんの高齢化に伴い、段差のある生活に不便を感じている方もいる。改善できるところは迅速に対応し生活に不便をかけないようにしたい。 ⑦施設の古さ・利用者間のトラブル等の不満はあるが、食事がおいしい・みんなといると楽しいという理由で満足している利用者さんも多いため、今後も利用者さんの意見を聞きながら、楽しく・安全に生活できるよう支援していく。

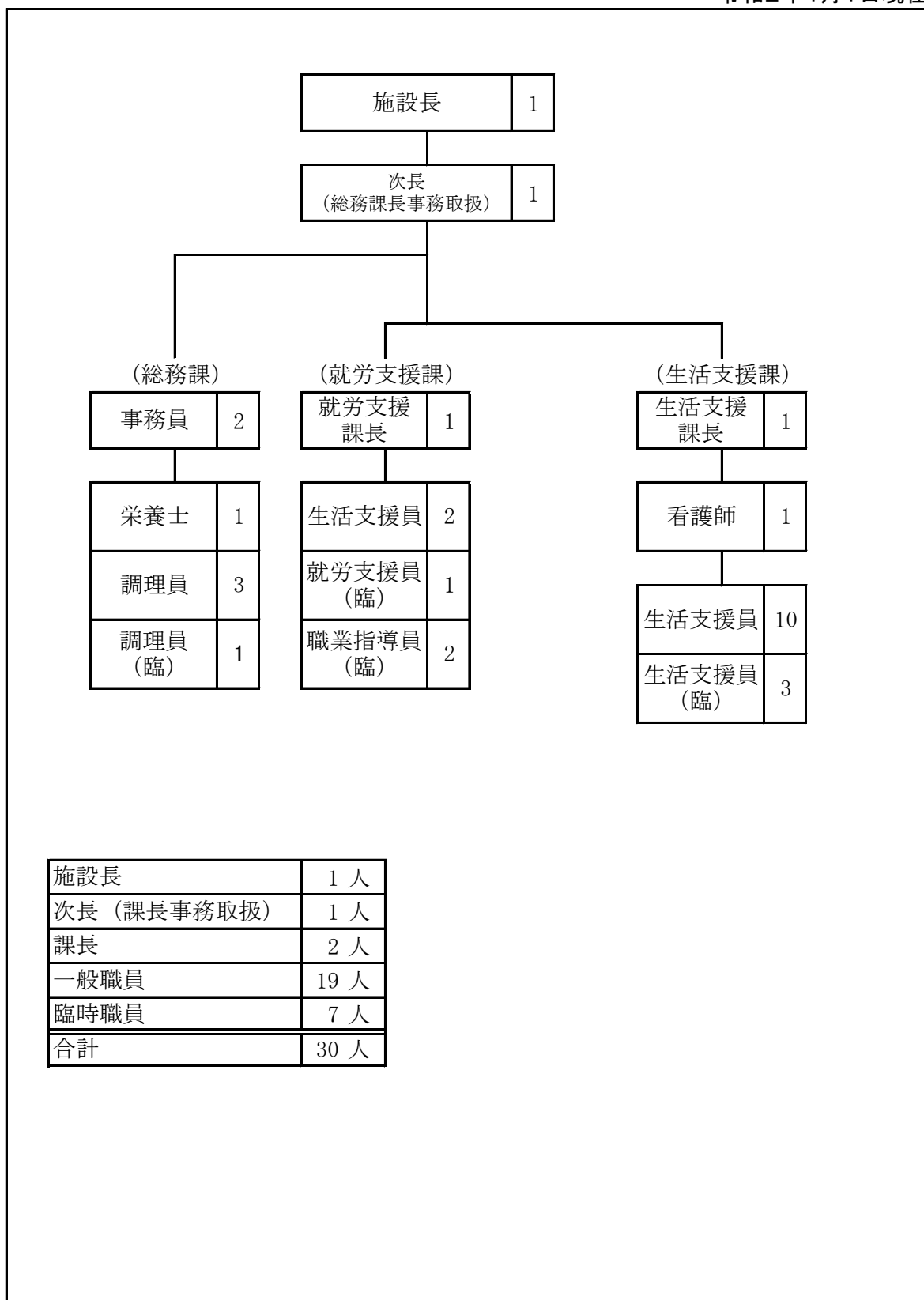
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	築40年以上の施設であるが、利用者が快適な住環境で生活できるよう、空調設備や給湯設備等の修繕を迅速に行う等、維持管理に努めた。また、業務仕様書等に基づき、適正に業務を行った。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備等の老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。
運営業務	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事等の延期又は中止、利用者の外出制限、短期入所の一時制限等、計画どおりに事業を実施することが困難であったが、本人の意思を尊重した個別支援計画を作成し、利用者一人一人の状況に合わせて、食事・排泄・入浴等の介護等、日常生活に必要な援助を提供した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業内容の変更を余儀なくされたの遂行がはあったが計画どおりに事業が実施できない面もあったが、サービスの提供等は、概ね適正に行われている。 今後も感染対策に万全を期すとともに、引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力していくこと。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績から、すべての事業で計画、目標値を下回ってしまったが、前年度に比べ、年間を通し就労移行・就労継続B型の利用者数は増加した。コロナ禍の状況で利用者の確保は難しいが、引き続き関係機関との連携を図っていく。	利用者の減少については新型コロナウイルス感染症の影響も大きかったと思われる。就労移行支援サービスについては、支援学校等へのPRを積極的に行うとともに、関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のために努力していくこと。
収支状況	収入においては、就労移行・就労継続B型の利用者が増加、またコロナ禍において入所利用者の帰省が減少し、施設の延べ利用人数が増加したため、収入が増加した。支出においては、コロナの影響で実施できなかった事業等があったため、前年度より支出減となった。	令和2年度末で指定管理期間が終了し、法人での運営となる。また、新型コロナウイルスの影響も当面残ると考えられるため、感染対策に十分配慮した利用者確保対策が求められる。
自主事業	コロナ禍の影響で日中一時支援、共同生活援助について利用者数が減少したが、適正に業務を遂行することができた。また、生活支援センタークローバーが4年目に入り、相談支援、自立生活援助、居宅介護、重度訪問介護、行動援助、移動外出支援の更なる充実を図った。相談支援については前年度の相談件数を上回り、増収となった。	自主事業申請(事業計画書)どおり適正に実施されている。 生活支援センタークローバーを活用して支援の質の向上に努力されたい。
利用者満足度	「買い物・外出の対応」項目において、コロナ禍のため外出を制限したため、社会見学等の行事も中止となったことに「どちらかと言えば不満」「不満」の回答が多くあった。今後も利用者の意見に耳を傾け、利用者の視点に立ったサービスを提供していく。	概ね高い満足度を得ているが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、外出や見学旅行等を行うための方策を検討していくこと。又、その他の不満点についても可能な限り対応していくこと。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、あらゆる面で計画通りに進むことができない1年だった。そのような年でも知的障害があり、日常生活の支援が必要な方や一般企業に就職することが困難な方が自立した社会生活を送れるよう、個別支援計画に沿った生活に必要な訓練や職業訓練などを行うとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できるよう心掛けた。また行事は全て中止か縮小になったが、そのため施設内でできるイベントを考えたり、グリーン・ゾーン認証を受けた施設を貸し切り食事会を開くなど利用者にメリハリのある生活環境の提供をした。</p> <p>就労系日中サービス事業では、コロナ禍においても利用者の特性に合わせたさまざまな生産活動を提供するとともに、能力の向上、工賃増額の目標をたてた支援をすることによって、前年度に比べ平均月額工賃をアップすることができた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の減少や施設管理等、事業への影響が出ているが、職員らの努力もあり、個々の利用者の状況にあった個別支援計画に基づいて質の高いサービスを提供していた。</p> <p>また、利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力しており、利用者の満足度が高く、保護者との関係も良好であった。</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮するとともに、事業への影響が最小限に抑えられるよう努めること。</p> <p>就労移行支援サービスについては、PRや関係機関との連携等により、施設利用者増加のため努力していくこと。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者総数は減少したが、感染防止対策は概ね適正に実施され、感染者を出すことなく運営されている。また、前年度に比べ、全体的に利用者数が減少している中、就労移行支援サービスについては増加していた。</p> <p>引き続き、感染対策に万全を期すとともに、利用者の増加や、条例、協定等に基づき適正な施設管理・運営業務に努め、サービスの向上と経費削減により、安定した施設経営を行っていくこと。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



施設長	1 人
次長 (課長事務取扱)	1 人
課長	2 人
一般職員	19 人
臨時職員	7 人
合計	30 人